

## 津市の文化財めぐり

津市は安濃(アノ)川と岩田川河口の湿地帯に形成された三角州で古代には安濃津という港が築かれました。聖徳太子の創建と伝わる古刹四天王寺があり、平安時代には東国方面への都の重要な外港として琵琶湖畔の「大津」に対し安濃津を単に「津」と呼び習わしました。津は港を表す普通名詞です。15世紀の終わり頃から16世紀の中頃にかけて浄土真宗の専修寺を中心として環濠に囲まれた自治都市が造られました。専修寺は昨年訪れた栃木の専修寺の後を継ぎ、浄土真宗高田派の総本山となり、如来堂、御影堂は最近 国宝に指定されました。戦国時代末期には織田信長の弟信包(ノブカネ)が津城を築き、織田信長生母と伝わる花屋寿栄禅尼の墓も残されています。江戸時代になると藤堂高虎が領主となり、現在につながる街づくりが行われました。あまり馴染みのない所だと思われかもしれませんが見所は多く来てよかったと思われることと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

### 記

一、月 日 平成30年3月15日(木)～16日(金)

一、集 合 3月15日(水) JR津駅東改札口(海寄り) 10時40分

#### <往路 アクセス>

東京方面 ひかり503 東京7:33 品川7:40 新横浜7:52 小田原8:08 名古屋9:19  
名古屋で乗り換え 伊勢鉄道経由 快速みえ名古屋9:37 津10:30

大阪方面 近鉄特急 難波 9:00 鶴橋9:06 津10:24 津駅はJRと近鉄が一緒

一、コース一日目 徒歩及びタクシー

◎国宝、○重文、△県指定、□市指定

11:00 蓮光院 初馬寺 真言宗御室派 津市栄町3-210 TEL 059-227-3632

○木造阿弥陀如来坐像 平安時代寄木造

○木造大日如来坐像(重文) 東博へ出陳中

11:30 四天王寺 曹洞宗 津市栄町1丁目892 TEL 059-228-6797

○薬師如来坐像(重要文化財) 平安時代 桧の一木割矧(ワハギ)造、

絵 ○聖徳太子像、○藤堂高虎、同夫人像((絵は博物館に寄託中でレプリカ)

□山門 1646年再建 切妻造、本瓦葺、四脚門

花屋寿栄禅尼 伝織田信長生母の墓 五輪塔 □梵鐘 芭蕉文塚

12:15 津センターパレス(都ホテル跡) 地下一階

津城の100分の1で制作された復元模型展示 石垣・土塁の崩落を防ぐ為の「犬走り」

12:30 昼食 東洋軒 TEL 050-5868-4941

14:00 津城跡(県史跡)

丑寅櫓が復元 津城を築いたのは、信長の弟、信包(ノブカネ)で、天正8年(1580)にはほぼ城は完成、1600年関ヶ原の戦いの前哨戦といわれる安濃津城の戦いで毛利秀元、安国寺恵瓊等により落城。

1608年今治から藤堂高虎が入城し、改築が行われた。□入徳門 藩校有造館の門を移築

15:30 浄明院 臨濟宗 津市乙部3-12 TEL 059-228-8664

江戸川乱歩の実家、平井家の菩提寺 △宝篋印塔、□鐘楼

16:00 津観音寺 真言宗 TEL 059-225-4013

709年創建と伝わる古刹だが空襲により伽藍焼失、日本三観音(浅草、大須)の一つに数えられる。

□銅灯籠 1628年高虎が寄進、五重塔 平成13年再建

#### 津観音寺資料館

戦災を免れた寺宝を展示 □絹本着色 愛染明王像 □絹本着色 十二天像 □絹本着色 虚空蔵菩薩像 □絹本着色 大威徳明王像他 多数あり、展示品は未定

17:00 宿泊 ホテルドリーミン津 温泉けやきの湯有 原則シングル TEL 059-213-5489

18:00 夕食 たわわ 津市栄町3-228 TEL 059-227-0103

二日目 徒歩及びタクシー

8:30 ホテル出発

9:00 勝久寺 津市 天台真盛宗 一身田上津部田 TEL 059-229-3251

○木造阿弥陀如来坐像 ○木造地藏菩薩立像 ○木造聖観音立像

10:00 一身田寺内町の館

寺内町は今井町や富田林に残されていますが完全な形で残されているのは当地のみ。地名は奈良平安時代にその人一代の私有が許された墾田に由来するといわれている。寺内町の説明とビデオ

11:00 厚源寺 △木造聖徳太子立像(南無仏太子) 鎌倉時代(後期) 一木造玉眼入 拝観不可

11:30 慈智院 △本堂

12:00 昼食 栄屋 華ごぜん TEL 059-232-2032

13:00 専修寺 浄土真宗高田派本山

◎如来堂門 1748年 入母屋造、本瓦葺、裳階付、禅宗様、信徒の主張により南向きに建築

○木造阿弥陀如来立像 比叡山延暦寺から譲り受け

◎御影(ミエイ)堂 1679年 入母屋造、本瓦葺、和様

○通天橋 唐破風造、本瓦葺 如来堂と御影堂をつなぐ 柱間は吹き抜け

○唐門 切妻造、檜皮葺、四脚門、正面背面に唐破風

○山門 入母屋造、本瓦葺、五間三戸の二重門

○太鼓門 ○御廟拝堂、唐門透塀 ○鐘楼 ○茶所 宝物館

一身田駅 15:30 津駅 15:35 ホテルで荷物受け取り

15:50 津駅解散 <復路 アクセス>

東京方面へ 伊勢鉄道経由 津 16:04 名古屋 17:07

ひかり 528 名古屋 17:26 小田原 18:36 新横浜 18:52 東京 19:10

大阪方面へ 近鉄特急 津 16:21 鶴橋 17:47 難波 17:53

会費 ¥27,000円

一、締切 平成29年3月3日(金) 指定申込み用紙でお振込み下さい。

当日付郵便局消印まで 口座番号00110-8-114212

以上

